



「人・農地プラン」の作成に水土里情報を活用した事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体： 水土里ネットさが、佐賀県内4市町

取組概要

内容：水土里情報利活用促進事業で整備した、航空写真、農地筆・区画図を活用して、水田台帳及び地域の中心となる農業者（個人・集落営農組織）リストを基に農地利用図を作成し、「人・農地プラン」作成に活用。

経緯：①地域水田農業推進協議会が保有する水田台帳は、電子データ化していたが、図面は紙ベースでしか存在しておらず、図面の作成は手作業による着色に多大な労力を必要としていた。

②平成23年5月に県内2市町、平成24年4月に2市町において、水土里情報システムの本格運用を開始。耕作者氏名、作付作物名、地番、面積を航空写真と重ね合わせた図面を作成し、水田の転作確認及び農業者戸別所得補償制度の現地確認に利用を開始。

③平成24年5月～：水土里ネット佐賀に、佐賀市から「人・農地プラン」の作成方法について相談があり、7月から農協の支所単位で、図面作成を開始。作成した図面は、「人・農地プラン」における農家との話し合いに活用。



平成24年7月
生産組合長会議で、作成した
農地利用計画図（現況）を使用
して説明

期待される効果

農地利用図の作成に水土里情報システムを活用することにより、

- ①農地利用集積計画票や、農地利用計画図の作成が容易になる。
- ②現況の農地利用状況の把握が容易となり、農家との話し合いに活用できる。

①農地利用集積計画票

別紙：地域の中心となる経営体に対する農地の集積計画表(工程表)

地域の中心となる経営体の経営農地				左記の経営体に対して28年度までに貸付等が予定されている農地						
経営体 (氏名)	耕地番号	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	耕地番号	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m)			貸付等の 予定年度
							貸付	作業委託	売渡	

連携する者の意向に基づき、貸付等の意向をもって
いる農地について、筆ごとの情報を記入

農地の集積の必要
のない場合は、
この欄は空欄でも
可能

この欄は必ず記入

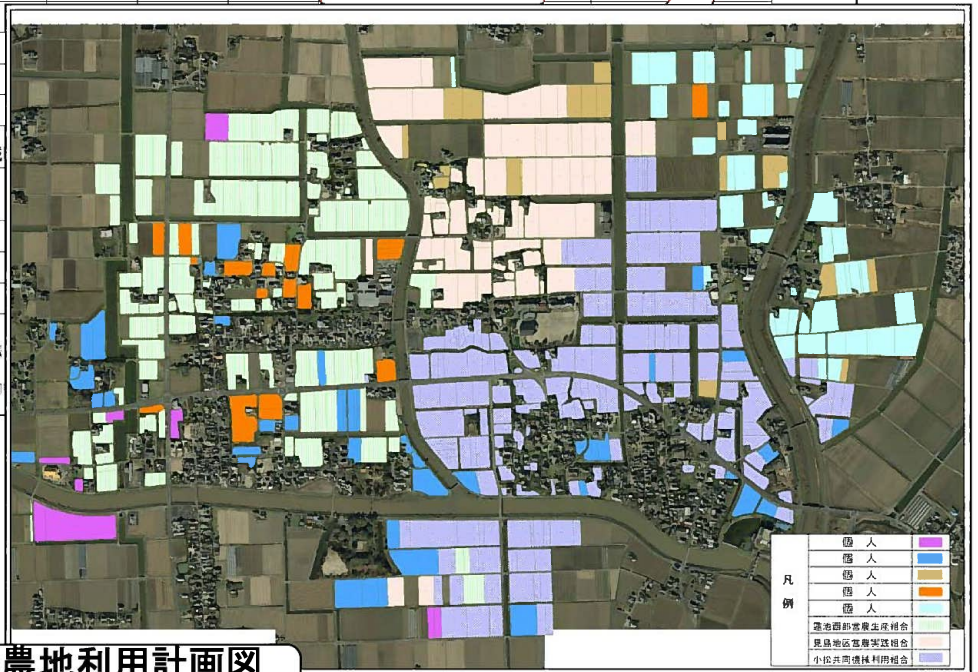
農地基本台帳簿に記載されてい
る面積を記入

(上記以外の農地の情報) [可能な範囲で記載]

耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号

【記載上の注意】

- ※ 「地域の中心となる経営体の経営農地」の欄は、必ず記載
- ※ 地域の中心となる経営体に対して農地を集積する場合は、
- ※ 農地の集積計画が円滑に取り組まれるよう、本計画表の内



②農地利用計画図 (現況・将来)

今後の活用予定

農地利用状況調査項目として①後継者の有無、②規模拡大の有無等のアンケート項目を加え、データベースを充実し、後継者対策や農地集積に活用する予定。

■お問い合わせ先

佐賀県土地改良事業団体連合会 換地用地課 水土里情報推進室 0952-24-6273 (直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、柳川) 03-6744-2201(直通)